



議員 清 貴 (新 生 会)

問 ホタテ死滅対策は

答 (仮称) ホタテ養殖緊急支援事業を実施

問 同僚議員に対し、令和3年第4回定例会において、水産商工課では、ホタテの特定共済加入率は60%と答弁しているが、今年度の加入率は何%か。また、今年度のホタテ成貝・稚貝の死滅率はどのくらいか。北海道でも稚貝の死滅に苦しんでいる状況であるが、本町における死滅対策と今後の方針を詳しく述べよ。

佐藤町長 5年度のホタテ特定養殖共済加入状況は加入対象漁業者143名のうち、79名が加入し、加入率は55%となっている。ホタテの死滅について、漁協が漁業者に聞き取り

を行ったところ、漁業者間で差はあるが、5年度水揚げの30%以上、5年度採苗した稚貝で20%以上が死滅しているとのことである。死滅の要因は高温によるものが大きいと考えられ、海洋環境の変化に起因するものであることから対策は難しいものと考えているが、緊急対策として(仮称)ホタテ養殖緊急支援事業によりホタテ養殖業者への支援を検討しているところである。

問 ホタテ貝の漁業者は大変売上げが減少し、収入が激減していると聞く。この現状を考えると、当町としても最大限の支援をお願いしたいが当局の対応は。

甲斐谷副町長 町長の指示により、現在まで検討を続けてきた。今般、具体的な支援策がまとまりつつあるので、今議会中に補正予算を提案したいと考え



山田の美味しい水産資源を守りましょう

その他の質問

- ◆ サケ・マス類の海面養殖について
- ◆ 漁業共済等による漁業者への支援について
- ◆ コミュニティ事業について
- ◆ 町長施政方針について

ている。なんとか今年中に何らかの支援を行っていききたい。

※今回の定例会において支援金の補正予算が計上、議決され、支援事業が実施されています。